

学生海外派遣プログラム実施報告書

所属学科	理工学研究科 物理・情報科学専攻
氏名	山本 隆博
派遣期間	2013年12月2日～2014年3月3日
派遣先 (国名及び機関名)	ドイツ、Center for Advanced Security Research Darmstadt (CASED)

派遣先での経験や日常生活など

CASED では重要情報インフラ保護とレジリエンスに関する文献を調査して、ボットネット対策やサイバー演習などについて学ぶことができました。基本的な生活に関して、月曜日から金曜日は研究所で過ごしていました。研究所では、朝 10 時から夕方 18 時まで文献の調査と要約をしておりました。18 時以降は自由な時間でしたので、買い物をしたり、家でリラックスして過ごしたりしていました。土日の休日は、家で勉強をして過ごすこともありましたが、海外が初めてだったので、ダルムシュタットを散歩したりフランクフルトやハイデルベルグに観光したりしていました。私が滞在していたときはクリスマスシーズンで、クリスマスマーケットにも行くことができました。

1. 重要情報インフラ保護とレジリエンスに関する文献調査の結果

・ボットネット対策

ボットネットに関する文献から、ボットネットの歴史や現在までの各国のボットネット対策について知ることができ、ハニーポットなどの技術的な対策方法についても知ることができました。

・サイバー演習

日本や EU、アメリカなど各国が独自で行なっているサイバー演習や複数の国が関わる国際的な演習について学ぶことができました。特に EU で行われているサイバー演習に関して集中的に調べました。



Figure 1 ダルムシュタット中央駅



Figure 2 駅構内



Figure

Figure 4 シャボン玉を吹く熊



Figure 5 クリスマスツリー



Figure 6 市役所



Figure 7 クリスマスマーケット

2. 日常生活

普段は CASED のあるダルムシュタットで過ごしておりました。また、フランクフルトにある市役所や大聖堂に観光に行きました。フランクフルトは高層ビルがいくつも非常に発展した都市です。その一方で、古き良き街並みも残っており、市役所や大聖堂は観光地としても多くの人に知られています。市役所前ではピエロがおり、お店の前ではシャボン玉を吹くクマの置物があり、観光客が楽しめる良い雰囲気でした。さらに、クリスマスマーケットにも行くことができました。クリスマスは非常に大きなイベントで、多くの方が力を入れており、2週間ほどのクリスマス休暇があるほどです。特にルイーゼ広場などの大きな広場には露店が開かれ、クリスマスマーケットと呼ばれる市場ができます。このクリスマスマーケットではホットワインやビール、その他多種多様な食べ物が売られていました。もちろん、綺麗なクリスマスツリーもあり、その周りでは人が集ってホットワインやビールを飲みながら楽しそうに過ごしていました。

以上のように、CASED では重要情報インフラ保護とレジリエンスについて学びました。また、観光やクリスマスなどを通して、ドイツの文化について学ぶことができました。